

中部地域のジオパーク関係者が佐渡に来島！

昨年11月23日・24日の2日間、第7回日本ジオパーク中部ブロック大会が佐渡市を会場に開催され、佐渡を含めた10地域のジオパーク関係者56人が集いました。

中部ブロック大会は、比較的集まりやすい隣接した都道府県のジオパーク地域が年に一度集まる会で、各地の情報交換や経験の共有を重ねることで、ジオパーク活動に取り組む地域が互いの活動の発展を目指すことを目的としています。

1日目は、参加地域の活動を紹介する事例紹介とジオパークガイド向けに、ガイド力向上を目指す研修会が実施されました。

2日目は、参加者が2グループに分かれ、佐渡ジオパークガイド協会が考案したコースを巡り、コースに対する意見交換を行いました。

参加者からは「各地のガイドさんの話が聞けて良かった」「2日目にふるまわれた佐渡のおけさ柿の味が印象に残った」などといった意見をいただきました。

ジオパーク活動は自分の地域だけでなく、ほかの地域との交流を通じて自分たちの地域の課題をとらえ直

すことができるのも大きな強みの一つです。



中部ブロック大会に参加した皆さん

社会教育課ジオパーク推進室

27 | 2162

『サロン活動を活発させたい!』

小木町・宿根木地域担当 岩瀬 祥子

協力隊に着任して三度目の新年を迎えました。担当地区の宿根木では、住民の健康づくりや住民間の交流とふれあいを目的に、田植えが落ち着いた6月と、農閑期となる11月から3月にサロンを月に一度開いています。これまでウォーキングや料理教室、手芸などを楽しんできましたが、もっとサロン活動を皆さんに知ってもらい、参加を促すにはどうしたらいいか、そこで味噌づくりをしてはどうかと思いつきました。

私は今年の3月で協力隊の任期を終えます。その後は夫と二人三脚で農業を軸に生活をしていきたいと思っています。味噌の原料である大豆の栽培も今後のためになると思い、昨年、大豆の多収栽培という少し手間のかかる栽培方法に挑戦しました。結果としては多収とはならなかったのですが、味噌を仕込むには十分な大豆がとれ、この大豆を使って50kgの味噌をサロンで仕込む予定です。麴となるお米ももちろん地元産。地元で採れたものを使ってみんなで楽しみながら味噌を仕込んで、それを食べて健康づくり。「味噌汁は朝の毒消し」ということわざがあります。皆さんもおいしいお味噌を食べていますか？

地域振興課 地域振興係 ☎63-4152



ゴミ拾いも兼ねてのウォーキングで、環境美化と健康づくり!

～地域の魅力をサポートします～
われら地域おこし協力隊